

実施学年	6年	実施教科 (科目)	外国語活動	実施日	H24. 11. 7
単元名	Lesson6 What time do you get up? 一日の生活を紹介しよう				
本時の内容 (項目)	表現・・・動作・時刻 What time do you get up?— I (動作) at (時刻) .				
本時の目標	友達の一日を尋ねるインタビューを通して、動作や時刻の表現、その時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 3 / 5				
授業場所	6-1教室	ICT活用時の 授業形態	一斉学習・個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入・展開・まとめ・他 ()		ICTの主な 活用者	教師・生徒	
活用するICT 機器	電子黒板 デジタル教材				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を利用することで、児童が黒板に向かって授業に参加する時間が多くなり、児童が集中して授業に参加できる。 単語練習や対話練習の際に電子黒板を利用することで、ネイティブの音声を真似て発音することができる。また聞きたい部分を何度も聞くことができる。 				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 単語練習や対話練習のモデル提示 Chant 練習 聞き取り文章の提示 				
利用するコン テンツ名・サ イト等	Hi, friends ! 2 デジタル教材 (文部科学省)				
参考にしたサ イト・文献 等	文部科学省 “Hi, friends!”関連資料 http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1314837.htm				
事前の準備	教師用絵カード (動作) デジタル教材 振り返りカード				

<p>指導計画（授業の展開）</p>	<p>1. Greeting 2. Song 3. Practice ※デジタル教材 ・数字と動作の言い方を確認する。 ・時刻の言い方を思い出す。 ・一日の生活の尋ね方を思い出す。 4. Chant ※デジタル教材 5. Let's listen ※デジタル教材 ・音声教材のさくらの話を聞いて、時刻を答える。 6. Activity 「インタビューゲーム」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達の一日の生活をインタビューしよう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: What time do you {get up/go to school/go to bed など} ? B: I {get up/go to school/go to bed など} at~.</p> </div> <p>・交互にペアの子に生活時刻を質問して、自分の一日の生活と比較する。 ・途中、中間評価で自分の会話の仕方について振り返る。 (Clear voice, Eye contact) 7. Evaluation ・観点に沿って自己評価を行う。 ・聞き取った内容や、話し方について相互評価を行う。</p>	<p>(※情報モラルの指導内容)</p>
<p>ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板の設置位置を考え、無駄な動きをできるだけなくすよう工夫する。 ・電子黒板を使用しないときには画面を消して、児童の注意をそらさないように留意する。 	
<p>ICT を活用した授業時の児童生徒の反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を用いた授業よりも集中して授業に取り組む姿勢が見られた。 ・Chant の練習では「One more time.」という声が児童の中から出て、意欲的に取り組む姿が見られた。 	
<p>ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）</p>	<p>①興味関心・・・視覚的な刺激、聴覚的な変化ということと画面が動くということ、児童の視点が一点に焦点かされたことにより授業への食いつきがよくなった。 ②集中力の持続・・・教科書を全員で共有することができるため、児童はページをめくったりどこを示しているのかを探したりすることなく、一点集中で集中力を持続できていた。 教師の指導は電子黒板を介在させることによって、児童に背を向けることなく、常に対面しながら展開することができていた。</p>	
<p>今後の課題</p>	<p>電子黒板を利用することで児童の注意を引くことができた反面、パソコンの不具合（デジタル教材のデータの容量の関係でパソコンの反応が悪くなった。）によって、空白の時間が度々できてしまったため、設備の充実が必要だと感じた。また、電子黒板の活用を図っていく上で、どのような教材を用意するか、授業のどの場面で活用するかという精選が必要だと考える。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。